

教育委員会からのお知らせ

五條市善意銀行から図書を寄贈いただきました

五條市善意銀行から市内の各小中学校に図書が寄贈され、3月3日（火）に贈呈式が行われました。

寄贈いただいた図書は主に各学校の図書室に設置され、善意銀行から寄贈された旨のメッセージが掲示されています。

善意銀行は、社会福祉協議会が窓口となり、地域の皆様からの善意の気持ちを物品や寄付金としてお預かりし、ひろく地域の福祉に役立てることを目的に設置されています。

この図書寄贈をきっかけに、子どもたちがあたたかな気持ちの輪を広げていってくれるよう願っています。



○寄贈された図書の一例

県トラック協会五條支部から防犯ライトを寄贈いただきました

公益社団法人奈良県トラック協会五條支部から市内の各小中学校の児童生徒全員（約1,800人）分のLED懐中ライトを寄贈いただきました。

その後、1月20日（月）に子どもたちや保護者の方から寄せられたお礼の手紙の伝達が行われました。

県トラック協会五條支部の丸山会長は「手紙をいただいて大変嬉しい。子どもたちの安全に少しでも役立てばという思いで寄贈させていただいた。これから活動を続けていきたい。」とおっしゃっていました。

今後とも各方面から子どもたちを見守っていただきますようご協力をお願いいたします。
本当にありがとうございました。



○寄贈されたLEDライト

学校教育課

五條市読書活動活性化事業 「自ら本に手を伸ばす子に」

平成27年度より、毎年、市内小中学校に「読書活動活性化事業モデル校」を指定し、五條市立図書館から図書館司書を派遣しています。

子どもたちが、それぞれの発達段階に応じて、よりよい読書環境で自立的な読書活動を進めていけるように、学校と協力しながら様々な取組が行われています。

今年度は、小中6校に週2日間、図書館司書を派遣しており、図書室は「より探しやすい・楽しく」変化を遂げています。

また、モデル校以外の小中学校にも、図書支援員を派遣し、同じように図書室の環境整備や読書活動推進のための様々な工夫が行われています。

図書室のようす（一例）



○見つけやすいようにタイトルごとに整理して並べられています。



○本の表紙が見えるように、面展台上に並べて紹介されています。

子どもたちにとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を養う大切な活動です。人生をより深く生きる力を身に付けていく上で大切な要素のひとつでもあります。

高度情報化社会を生きる子どもたちには、受け身にならず、自分でしっかりとものごとを考える必要があるからこそ、今後はより一層、読書活動が重要になってくると考えています。



五條市教育広報

夢志のひろば

MU-SHI

もくじ

- 1 面 かるた大会について
- 2 面 学校紹介
- 3 面 学校紹介等
- 4 面 教育委員会から

編集・発行 五條市教育委員会 ☎0747-22-4001 〒637-0083 五條市下之町 21 番地

五條市小学生ふるさとかるた大会を開催しました！



2月1日(土)午前9時からシダーアリーナにおいて、昨年度に引き続き「五條かるた」を使ったかるた大会を開催しました。

このイベントは、ふるさと五條の良さを学び、ふるさとを愛する心を育むとともに、市内小学生の新たな出会いの場をつくり、交流を深めることを目的としています。

事前に申し込んだ小学生2名で1チームを構成し、低・中・高学年の部による対戦を行ないました。当日は、各チームとも1枚でも多くかるたを獲得しようと、白熱した戦いを繰り広げていました。

また、ボランティアスタッフとして、県立五條高等学校の生徒5名に審判をはじめとする大会運営に協力いただきました。

「五條かるた」は「遊びを通して自分の住む地域に興味を持つきっかけとなれば」との思いから、五條市制60周年記念の一環として平成29年度に作成しました。

かるたの作成には五條市内の児童生徒が関わってくれています。句については、当時の小学校5年生から中学校2年生が担当し、五條高等学校の書道部が清書してくれました。絵については、五條高等学校の美術部・智辯学園高等学校の文芸部の生徒が担当するなど「五條オリジナル」のかるたとなっています。五條の名所や人物にちなんだ内容となっており、ふるさとの魅力を再認識する良い題材になるかと思っています。

この大会は来年度も開催予定ですので、皆様の参加をお待ちしています！



卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。次のステージでも「夢」と「志」をもって頑張ってください！



五條小学校

本町1-1-4 電話 (22) 2200



「夢見るチカラ」を応援する

5つの
ドリーム
パワー

なぜなにパワー

進んで学ぶ

きっちりパワー

きまりを守る

んきパワー

根気よく

こやかパワー

元気に挨拶

もだちパワー

友だちと協力



本校では、シンボルキャラクター「五夢りん」の③④⑤⑥(すこやか、きっちり、なぜなに、こんき、ともだちパワー)を児童とともに大切に、知・徳・体をバランス良く育む取組を推進しています。今回は、「徳」につながる、ふるさと学習の取組について紹介します。

◎故郷に願いをよせて

本校区には、新町通りをはじめ、文化財や史跡が多く残っています。それらを学年に応じて調べたり、実際に訪れたりしながら、ふるさとへの思いを、「知る」「自慢に思う」「発信する」と段階的に高めています。そして、ふるさと学習の集大成として、六年生が校区にある史跡や文化について、ナビゲーターとして各ポイントで参加者に説明しながら回る「五條・新町歴史ウォーク」の取組を進めています。このことは、故郷にこだわる子どもの育成につながるかと考えており、歴史ウォークを開催するにあたり、児童が全行程や説

五小HPの
QRコード

歴史ウォークの様子

明ポイントの計画を立てています。故郷のどんなことを知って欲しいのか、知ってもらうためには、どのように伝えればよいのか等を、皆で分担し協力しながら進めていきます。

今年度の歴史ウォークは、五条駅から出発し、天誅組の本陣のあった櫻井寺、日本最古の民家としての建物で重要文化財に指定されている「栗山家住宅」、江戸時代、二見城城主として五条藩を治めた松倉重政が整備した「新町通り」等々をまわり、フリップや紙芝居等を用いて説明しました。参加者からは、「よく調べてあって、分かりやすかった。」「五條市を案内してもらって、とても楽しかった。」等のメッセージをいただくことができました。毎年楽しみにして参加して下さる方もいらつしやいました。この活動をきっかけに、地域の方々とも更につながる事ができました。この「五條・新町歴史ウォーク」を、故郷を愛し誇りに思うきっかけとなるよう、続けていきたいと思っています。

めざす学校像

～夢や目標に向かい、強い意思で生き生きと活動できる「チーム五中」をめざして～

春



**3中合同1年生
野外活動**
新校開校に向け、なかもつくりや規範意識の高揚を目的に3中学校(五條・野原・西吉野)合同で実施しました。

夏



防災訓練
学校・家庭・地域の連携を目指し、救急救命訓練や防災マップ作製、大塔町被災地への献花などを行いました。

秋



花いっぱい運動
花を植える活動を通して、人として、よりよく生きる力を育成することを目的に実施しました。

冬



キャリア教育
ふるさと五條で活躍されている方々からお話を伺いました。社会に出る上で基盤となる能力を養う貴重な機会です。

チー ム 五 中「夢・志」

令和2年度から、いよいよ新生五條中学校がスタートします。その準備期間として、3中学校区(五條・野原・西吉野)の教職員が密に連絡・連携を図り、生徒たちが横のつながりや縦のつながりをもつとともに、「思いやり」や「心の絆」を深める方途を模索しながら、様々な活動を積み上げてまいりました。

これからも一人一人の生徒が、「ふるさと五條」を愛することや「将来の展望」を思い描くことができる活動を推し進めてまいります。

皆様方、これからもご支援・ご理解の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



五條中学校

下之町50 電話 (22) 2094

幼

五條幼稚園

本町3-1-13

☎(222) 22500

教育目標

心身ともに健康でいきいきと活動できる子どもの育成

✿ ワクワク・ドキドキ・笑顔いっぱい幼稚園 ✿

安全に行動できる健康な身体
と運動能力を育てる

健やかな身体

毎朝「体操」・「リズムジャンプ」・「運動遊び」を通して体力づくりをしています。今年度から取り組みを始めた「リズムジャンプ」では、長いレーンに沿って、軽快な曲に合わせ、バックジャンプ、けんけんジャンプ、ねじりジャンプなど様々なジャンプを組み合わせて行います。友達1人1人の合図を掛け合って元気いっぱい楽しんでいます。



人権を確かめ合う日



絵本の会



愛情や信頼感、思いやりの心を育てる



施設慰問

豊かな心



ごっこ遊び



とび出し防止運動



ALT の先生と



木工教室

学ぶこと、活動することの楽しさを体得する

学びの芽



お知らせ

4/12 (日) オリンピック聖火リレーが開催されます！



いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックイヤーを迎えました。大会開催に伴い、4月12日(日)にシダーアリーナから大和二見駅間を舞台に、国道24号線を封鎖してオリンピック聖火リレーが行われます。オープニングセレモニーは午前8時40分から、ランナーのスタートは9時10分の予定です。読売ジャイアンツなどで活躍した鈴木康友氏がランナーとして、聖火をつなぎます。

大会の成功を願うとともに、国をあげてのイベントですので、是非、沿道での応援をお願いします。

詳細については、東京2020オリンピック・パラリンピック公式サイトまたは奈良県ホームページをご覧ください。

聖火リレー豆知識

現在のような聖火リレーの形ができたのは、1936年のベルリンオリンピックからだといわれています。

今回の東京大会の聖火はギリシャ・オリンピアの太陽光で採火され、121日間をかけて全国47都道府県を巡り、開会式当日に最終ランナーによってメインスタジアムへと運ばれます。